

平成28年12月 9日

## まちづくり委員会資料

### 請願の審査

#### 請願第28号

JR南武線稲田堤駅の踏切（観光道踏切）の早期危険解消を求める請願

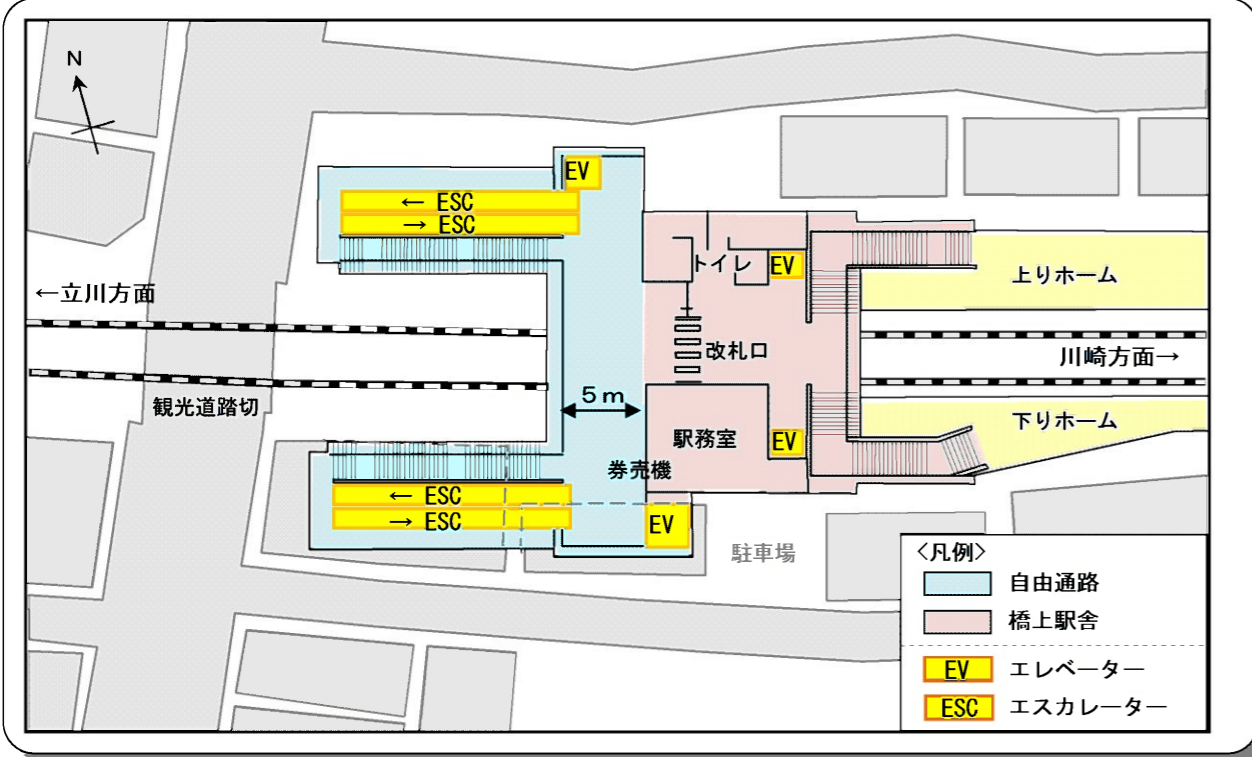
資料 JR南武線駅アクセス向上等整備事業（稲田堤駅）の取組状況について

まちづくり局

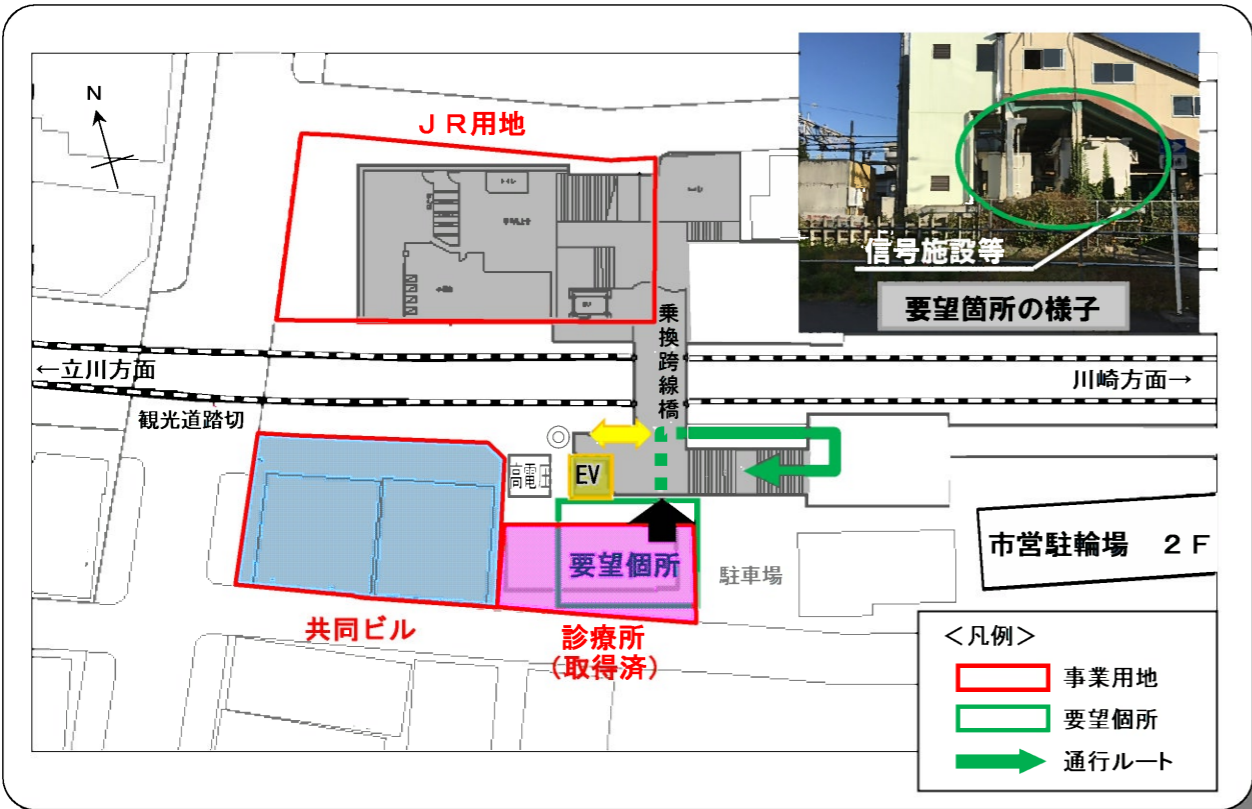
1 整備方針

鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全性・利便性の向上など駅へのアクセス向上に向けた取組として、橋上駅舎化の整備を推進する。

2 整備概要図



3 必要な事業用地の位置



4 今までの取組

- ・平成21年度 「南武線駅アクセス向上方策案」策定  
関係地権者に対する事業概要説明、事業協力依頼、用地測量を実施
- ・平成26年 3月 地元説明会（菅小学校）の開催  
「平成26年度工事着手、平成29年度完成」と説明
- ・平成26年 5月 駅舎デザイン投票の実施
- ・平成28年 8月 要望書を受理

＜J R南武線稲田堤駅の踏切（観光道踏切）の早期危険解消を求める要望書＞

平成28年8月22日 川崎市長へ提出

要望者：菅町会会長、稲田堤振興会会長、菅小学校PTA会長

要望の要旨：

- ① 駅整備事業の平成26年3月地元説明会後（約2年間）の経過と今後の取組について説明会の開催を求めます。
- ② 駅利用者、踏切横断者の増加による危険増加からの通学路の安全対策並びに橋上駅舎事業に必要な用地取得に伴う地権者への丁寧な移転補償により早急な駅整備事業の実現を求めます。

- ・平成28年10月5日 要望書を受け、地元説明会を開催（出席者55名）

【主な意見等】 早急な用地取得や暫定改札口の設置、橋上駅舎の施設計画について

5 要望等に対する検討

○早急な用地取得の検討

現在行っている任意交渉と並行して、土地収用法の検討を進めている。

- ・土地収用法の適用には長期間を要することが課題。
- ・事務手続きについては、県と協議を行い、進めていく。

○南側暫定改札口の検討

南側の取得用地等を使用して、暫定改札口の設置の検討を行ったが、以下の理由により大変難しいものとする。

- ・南側の道路に、駅に向かう人が集中した場合、道路幅員が狭い。
- ・階段下には、信号施設等があることから、現状では通行不可。
- ・朝の通勤・通学時間帯における駅利用者の8割が川崎方面ホームを利用するため、多くの方々が、階段横のホームの端を通行しなければならない。エレベーター動線とも輻輳する。
- ・川崎方面ホームに向かうため、幅員3mの乗換跨線橋に人が集中する。

6 稲田堤駅及び観光道踏切に関するデータ

- ・J R稲田堤駅 乗降客数 51, 286人/日（平成27年度）
- ・京王稲田堤駅 乗降客数 52, 801人/日（平成27年度）
- ・菅小学校の踏切横断児童数 249人/日（平成20年9月調査）
- ・1日あたりの踏切横断者数 28, 392人/日（平成27年）
- ・1日あたりの踏切横断二輪台数 4, 148台/日（平成27年）
- ・1日あたりの踏切横断自動車台数 2, 415台/日（平成27年）